



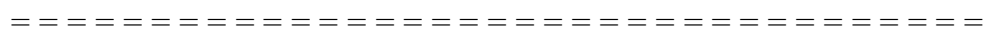
地域日本語支援ニュース こだま 第 250 号

2014.2.27



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。



■AJALT からのお知らせ■

「Japanese for Busy People 1」アプリ (iOS) のご案内

AJALT の著作教材「Japanese for Busy People」(講談社 USA 刊) は、一般社会人が、日本語の基礎と日本人のコミュニケーションの特徴を理解しながら、実用的な会話を効率よく学習できる初級日本語教材です。3 巻シリーズのうちの第 1 巻は、とくに日本語の入門書として、国内、海外を問わず広く活用されています。

このたび、その第 1 巻に準拠した補完教材として、iOS アプリ「Japanese for Busy People 1」が開発されました。今年の 1 月より Apple の App Store に、1 課から 5 課までの LITE 版が公開されていますので、無料でお試しいただけます(App Store より、キーワード「AJALT」で検索できます)。

全 25 課の完成版アプリ (予価 300 円) は、来月 3 月中にダウンロード可能となる予定です。

本アプリ各課のはじめにある「WORD POWER」では、カラー画像と音声を通して基本的な語彙力を養うことができ、「TARGET DIALOGUE」「SHORT DIALOGUE (S)」では、日本語話者の自然な速度またはその 85%の速度を選んで聴くことで、無理なく会話が学べます。また、語彙・表現、助詞・活用などの学習事項は、「QUIZ」でゲームのように楽しみながら、確実に身につけられます。

iPad／iPhone／iPodがあれば、忙しい方々でも空いた時間を見つけて、いつでもどこでも繰り返し学習に取り組みます。各課の最後には、「A BREAK」があり、世界遺産に認定された富士山をはじめ、日本の美しい風物の写真が掲載されていますので、勉強に疲れたらしばらく眺めてリラックスしてください。

☆☆☆★☆☆☆☆

「かんじ だいすき ～日本語をまなぶ世界の子どものために～」シリーズ

(AJALT 発行)

～ 以下の4冊が近日刊行予定です ～

☆☆☆★☆☆☆☆

- ・「中学に向けて かんじ だいすき 社会・理科編」練習帳
- ・「かんじ だいすき (四)」別冊英語訳
- ・「かんじ だいすき (五)」別冊英語訳
- ・「かんじ だいすき (六)」別冊英語訳

☆ 子ども、大人の枠を超え、幅広く使っていただいている漢字教材です。
練習帳、別冊英語訳もどうぞご期待ください。

■図書紹介■

～地域で最近刊行された図書をご紹介します～

『漢字だいじょうぶ！ 生活の中で学ぶ漢字のツボ』

トヤマ・ヤポニカ 中河和子・高畠智美

◆本書のコンセプト

日本で暮らす外国人が、いつも周りの日本人に頼るということなく読み書きができるようになることは、自立的な生活への一つのステップです。でも、彼らからよく聞くのは「漢字が多すぎて覚えられない」「一人ではとても勉強が続けられない」という切実な声です。

今回ご紹介する『漢字だいじょうぶ！』は、非漢字圏出身で、漢字がほとんどわからないという人や、漢字をがむしゃらに暗記してきたため、すぐに忘れてしまうという人に向けて作りました。

本書では、このような人が、彼らの学びに寄り添うサポーター（日本語支援

者)とともに、漢字の成り立ちや語構成といった漢字のシステムを学びながら、薬の袋の表示や看板、お知らせなどの生活素材を使って、生活に必要な読み書きを実際にやってみます。漢字学習を手助けしたいけど何をどうしたらいいかわからないというサポーターのために、サポートする際のポイントを随所に散りばめました。学習者とサポーターが対話する中で、信頼関係を結び、共に暮らす社会を見直すきっかけにしてもらうことも、本書の大きなねらいの一つです。

◆使い方

各課の構成は次のようになっています。

まずは、その課で学ぶ漢字が含まれた写真やイラストを見ながら漢字に興味を持ってもらいます。次に、漢字語の意味や読みを確認したら、ゲーム等、覚える辛さを越える練習で漢字を覚え、学んだ漢字を含む生活素材で、実際に必要な読み書きをやってみます。ここでは学習者とサポーターが素材に関連した話題で対話をします。対話によって、お互いをわかり合い、お互いの世界を広げあうことが、最も重要です。最後に作文を書いて漢字を覚えたら、練習問題をやって学んだ内容を確認します。

教材には、活動の進め方（サポーターのセリフ付き）やポイントが丁寧に示してあります。これらを読めば、学習者とサポーターの双方にとって意味ある活動が、きっとできるはずです！
